













第一百五十三席

**安部醫院**

電話四一九番

行ろ、將軍家御前に於いてお尋ねの  
物速に申上げられて宜しかるべし上へッ」モツ上野介も何んそ  
も云ひやうがない。又茲で云ひわけ  
をした處で何んにもありません、そ  
れツと云ふぞ我々注意してありしま  
しの見ゆました。編輯一挺上野介の  
前に据ゑました。本家の家来さん。  
居りますが仙臺の家者が千六百人ま  
居り、萬刀にて引き抜けば直ぐ軍  
卒になる。相手は大勢、遂に名代入  
政宗父子の乗込み居る事で却て手甲  
は出来ません、此の時によつて介い  
上「私は覺わなし、然し健藏あるた  
は是非に及ばず、江戸表へ罷越すア  
あらう」と其處で津江興物の中へ  
入りまして、安藤の家來を是を護衛  
して江戸に差送りましな。

五月二十四日九星  
舊四月四日丙寅  
本命七赤酉先勝

▲七占、豫知する日は金曜日の夜  
西ノ八入口、別荘の日發行向門内近松家  
磯金山屋惣持等共吉方九条、白紙して  
来るべき一日口眞事新市役所前土橋邸取附  
防かたるべし曰く大願院より江戸居候なり

小きな錠嚢とした、せきどりの感冒藥  
 としては蓋し最新最善のものである  
 故に其服用法は極めて其効力は實  
 に大なるもので評判は非常に高い  
 誰でも若し咳嗽の爲に然し愚切  
 れがたし喉にたんがせら／＼した  
 り感冒で痰咳が出たり時候の變故に  
 痰咳が出たり或はたんせきの爲に嗽  
 は喉が痛んだり音聲が枯れたり若くは  
 夜中に頻りに嗽が出たり此等病後  
 なで嗽の出る時に急いで此キドミ  
 ン一服を服はば極めて手早く痰咳が  
 止り熱も解け痰行も快くなる  
 七日は五分五錢の三種ある、つまりは  
 其心懸け一つで風邪だとな感じ咳が  
 出るなと思つた時に逸早く此良藥を  
 キドミンを服はば容易きに之を治す  
 こゝが出来る、けれども「ナニニ感冒  
 くらゐ」などと油斷して居たら最  
 忽ち諸種の呼吸器病を發覺して氣管  
 支氣管炎となり肺炎となり胸膜炎と  
 なり遂には終生不治の肺結核となに  
 罹つて猶又其病根を子孫にまで傳へ  
 る様な悲惨なことになる  
 直ちに此キドミンを服むと嗽が止  
 るは非常な善果があることなる聞け

[illegible]

# 御外に出の折

  
 醫學博士 古城憲治  
 醫學士 上野亮藏  
**七日**  
 今東京で大評判の元素  
 開物化粧品店にあり近

後(のち)に必ず  
致(いた)します。男(おとこ)子(こ)に  
決(き)して贈(くわ)る

物と御園の膏  
 には容易に御化粧崩れの  
 用應はしう御座います。  
 滑らかにし白粉の附着  
 白粉下御園の蓄の極く  
 均て込み其上に樂屋用  
 の遊ばすのが一番です。  
 御園紙白粉

折の御化粧直しには御園紙白粉が二  
 三枚貼られしき快活綺麗な風采と  
 まは化粧後にお用ひになる  
 ママケが致しません。

本工  
 カ  
 ー  
 東

料 御  
鋪本品粧化園湖

園蝶胡東伊



人英男子となる金園の樂店小  
京神田和泉橋原 松本藥店

白粉液  
本館  
東京神田和泉橋  
堀越嘉太郎商店  
東京二五番

料 御  
元膏發品粧化園御  
店商屋見丸◎  
(255)

---



千鐘 村上唯吉氏著  
追しるべし  
面 振替之のる 京統 日 代印  
圓 拾二錢  
明治十五年

本城京  
三  
〇一話

[illegible]

幾多の寓作中より

多敷有之節は店  
 兄本御送付次第  
 直入申上候  
 蘭生糸  
 山穀屑物  
 ウツボヤ書店  
 大井町一丁目東京第三〇〇番  
 京城日報代理部  
 大正二丁目 電話二五七番

龍山溪江通り

**蘭糸商行**

電話 二五七番  
電略 O(ニシ)或O)



具瓶

參拾錢

送内地金二十錢  
料館支金五十錢

21

有斐閣

[illegible]

朝鮮總督府編纂

朝鮮林野分布圖

著色八度刷美麗鮮明一部九枚筒入定價金參圓

郵稅 朝鮮金拾貳錢 內地、臺灣、樺太支那 金三十錢

朝鮮空前の大地圖林農鐵業家及研究家各種學校の參考備品として絶好無二の必要品

賣捌所 京城大平通一丁目 京城日報社代理部

法學博士土泉二新熊先生著 總論全一冊正價金五圓參拾錢 送料(内地金五十錢)

增補 改訂 日本刑法論

大増補二十三版出づ 久しく親切なる本書は今改訂成り益々善きものにして新に全部に互りて諸所増訂夥しく紙數千五百餘頁となり製本出来江湖に謹告す 一神田三七〇番 有斐閣

員出張仕候

龍山黄仁通リ  
蘭糸商行

電話 一五七番  
電略 〇〇三或 〇



旅行用具  
東古製  
袋物  
龍舟店  
東京市本町二丁目  
岩田龍舟店  
電話 一五七番  
電略 〇〇三或 〇

龍法瓶











